

2011年～2012年  
茅ヶ崎中央ロータリークラブ

## 会長方針

第29代会長 堀川正夫

2012～2013年度 田中作次 RI会長 テーマ

「Peace Through Service」

「奉仕を通じて 平和を」

### 《会長方針》

1. みんなで良い事をしよう
2. みんなで楽しもう
3. みんなで協力して知恵を出そう
4. みんなで仲間を増やそう

C L Pでクラブからの発信は上記の4点を基本に考えていきたいと考えます。

## 幹 事

當間安弘

会長の基本方針に向けた活動を、メンバー全員が信頼関係を持って、そして有意義に活動できるようクラブの運営を支えていきます。また、C L P導入の二年目の今年、将来に向けて新たな一歩が各委員会活動において踏み出せるようにサポートしていきます。特に副幹事としての経験・W E B担当しての経験を活かせるように努力をしてまいりますので皆様のご協力もよろしくお願ひいたします。

## 会場監督

加藤順一

好意と友情を深め、みんなためになる、秩序ある例会・親睦行事の運営を心がけるとともに、お客様・卓話者に失礼の無いようにする。

### 《実施計画》

1. 例会場設営は新会場に合せて、プロジェクターを利用したロータリー旗、国旗、進行式次第等を表示する。
2. 例会進行
  - (1) 歌唱のソングリーダーはクラブ奉仕委員会で事前に決めておく。  
なお第一例会では国歌斉唱もする。
  - (2) 諸事お祝いは第一・三例会で実施する。
  - (3) 来訪者紹介は会場監督がする。
  - (4) 出席報告はクラブ奉仕委員会で事前に決めておく。
  - (5) スマイル報告は奉仕プロジェクト委員会で事前に決めておく。
3. タスキはS A A ・クラブ奉仕委員全委員で着用する。
4. 来訪者接遇は会場監督もしくはクラブ奉仕委員、で案内し面識者いる場合は同席する。
5. 服装については従来通りとし7・8・9月及び6月はカジュアル例会とする。
6. 食事は例会開始30分前に用意しておきます。
7. 欠席の場合は事前に事務局へ必ず連絡をお願いします。食事を無駄にしないため協力願いします。
8. フォーラム・協議会の場合は時間延長となる事が有りますので事前にプログラムより連絡致しますのでご協力お願いします。
9. お客様（メイキャップ者、卓話者等）にお札状を出す。

## 会 計

三澤護

前年度会計の田中会員の方針を踏襲し、明朗会計になるよう努力致します。

## 奉仕プロジェクト委員会

委員長 山本泰然

奉仕プロジェクト委員会は、各リーダーを中心に全員参加で事業に当たります。

社会奉仕リーダー 湯山文夫

本年度は大槌に訪問することを考えます。まず、現地調査に赴き、その結果を踏まえてプランを立てます。

国際奉仕リーダー 丸山孝明

台北北門ロータリーカラブとの子弟交換および26周年事業への参加のプロデュースを行います。

新世代奉仕リーダー 松岡慶純

米国ノースカロライナからのGSE受け入れを行います。

委 員	村 越 果	内 田 誠 郎
沼 上 憲 雄	成 田 耕 一	
佐 川 悅 吉	山 田 悅 子	
森 下 行 由		

## クラブ(職業奉仕)増強委員会

委員長 倉知克則

堀川会長方針に則り、各リーダーそして各委員が一丸となってロータリーの原点を深く見つめ、継続性のある委員会であることを確認しながら、30周年に向けて、実りある結果・実績を残す委員会活動にしていきます。また、クラブ会員全員が一緒に増強にむけてフォーラムを開催しながら、協議・検討を重ねていきます。そしてクラブ及び会員の素晴らしい活動を広く地域に発信していきます。暗く・重くなりがちな委員会ではありますが、一年間、楽しんでやっていきます。

クラブ会員情報リーダー 峰山文明

2004年に会員情報として作成した「私の仕事・あなたの仕事」更なる事業交流にむけて!の本誌に新会員8名分を追加作成し、会員相互の理解を深めていきたい。

当クラブのトピックス記事をHPに積極的に掲載します。

会員増強・会員選考・職業分類リーダー 山崎正三

会員増強、増強を考える前にまず退会防止を実践しなければならない。一時的都合によるものであるならば、クラブ細則を見直すことも必要ではないか。例会日・例会時間等も検討しなければならない。入会セレモニーをもっと高品位にかえていく必要がある。クラブ細則の根源である誇りがあって、勉強にもなって奉仕して、感謝されて満足のできる楽しい集まりにする事が入会者を増やすことにつながる。一部の会員の力だけではなく全会員が増強委員のつもりで取り組んでいくことが必要である。

会員選考、本人の人格が適任者であるかどうか。職業人として世評はどうか、ロータリアンとして奉仕に熱意があるかどうか。その結果を理事会に報告する。

職業奉仕リーダー 石田忠勝

職業奉仕とは何か？クラブ会員は同僚のロータリアンに対しては自己の職業の代表となり、ロータリアン以外の人に対してはロータリーの精神を普及する責務を負うこと。この二つの責務が職業奉仕の基盤となるとのことです。一年をかけて解りづらい職業奉仕の理念をともに勉強する機会を作る活動を行います。

委 員 熊澤信行 水口學一  
小島忠男 岩橋祥江  
岡崎将剛 倉澤条太

**クラブ奉仕委員会**

委員長 木村康治

プログラム、親睦、姉妹・友好の三人のリーダーを中心とし、メンバー全員体制で、常に問題の共有化を図り、風通しの良い委員会を目指します。

プログラムリーダー 田中重光

卓話に関しては堀川会長の推奨する「クラブ会員のネットワークを生かした卓話の充実」を心がけます。例会場の交通の便がよくなつたことを活かし、会員同士のコミュニケーションが活発に取れるような（たまにはお酒も飲めるような）プログラムをつくりたいと考えています。

親睦リーダー 神尾元洋

本年度、例会場として初めて利用となる茅ヶ崎ラスカでの親睦会の形態の可能性を模索し、会員やその家族に有意義な親睦会を企画実施する。

- 7月 納涼会
- 12月 年次総会後の懇親会
- 12月 クリスマス家族例会
- 2月 創立記念例会
- 6月 最終例会（慰労会）
- その他

姉妹友好リーダー 藤原琢也

今年度は、姉妹友好クラブと更なる親睦を深めるために、奉仕プロジェクト委員会（国際奉仕担当）と連携し、相互の創立記念式典により多くメンバーが参加できる様な企画を立案して活動したいと思っております。

委 員 高 橋 功 山 谷 立  
長 田 洋 二 本 間 多 佳 泰  
佐 々 木 保 博 池 亀 武 士

## ロータリー情報委員会

委員長 山 口 健

下記の委員により 1 年間活動の予定です。(先ず委員会が楽しくなければ)  
活動部門のリーダー、サブリーダー以外は、活動部門の委員として活動。活動部門が複数の時は割り振りを決める。

研修リーダー 山 口 洋一郎  
サブリーダー 小 川 一 雄

研修委員 鈴木、高橋、赤間、三澤、城田、堀口、山宮

炉辺会合(仮称)の開催

- ・目的 会員相互のコミュニケーションの活発化と親睦の強化  
今後実行する活動の指針に
- ・実行内容 例会セレモニー終了後グループに分かれフリートーキング  
テーマ:会長を交えて委員会にて協議し決める  
運営:各グループ8人程度とし、グループ幹事・書記によって運営  
開催日:年3回開催 開催予定日 9月21日、1月18日、4月5日  
発表:議事録を作成し、クラブフォーラム等にて発表

ロータリー財団リーダー 鈴木 和 男  
サブリーダー 赤間 浩 正

財団委員 高橋、山口、三澤、小川、城田、堀口、山宮

11月財団月間が設定されているので、その時に財団関係者の卓話と寄付金を募る。

地区協財団部門に出席

米山奨学リーダー 高 橋 正 純  
サブリーダー 三 澤 譲

米山委員 鈴木、山口、赤間、小川、城田、堀口、山宮

10月の米山月間を中心に二つの行事を企画したい。

- ①米山記念館を訪れたことのない会員を対象に、三島にバスで訪れ「米山翁の幸徳を学ぶ」  
帰路、文化施設を見学の後、盛大に親睦会を開催。  
10月5日(金)を予定 ※親睦の木村さんと打合せ
- ②米山奨学生で社会活動をしている方を炉辺会合に招待し、成功談、苦労話などを語りあう懇談会を開催する。  
10月前後の炉辺会合を予定 ※池亀さん、山口さんと打合せ

こうして米山財団の理解を重ねた上で寄付を募ります。

委員 小川一雄 堀口昌信  
赤間浩正 山宮契谷  
城田安正  
三澤護（兼務）

### 長期計画委員会

委員長 山口洋一郎

今年度の長期計画委員会は、複数年度にわたる具体的活動（たとえば30周年記念事業）は実行委員会の所管と考え、これからのかづのあり方を根本的なところから戦略的に検討し、組織・活動について指針作りをしていきたい。

委員 堀川正夫 小川一雄  
出山和夫 當間安弘  
長田洋二 倉澤条太  
田中重光 加藤順一  
山本泰然 池亀武士